３月　ようじぐみだより

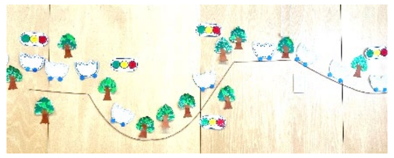
2026．3．1

　大きくなったことに喜びを感じながらスタートした４月から、もうすぐ１年が経とうとしています。今年度も残り一カ月になりました。たくさんのアイディアでグループのあそびをリードしてくれたゆりさんは、もうすぐ１年生。給食の時間も学校のリズムに合わせて行けるように、１０時４５分に午前中のあそびのお片付けをした後、ゆりさんだけで１１時半まで再び活動し、その後ベット運びをしてから１２時前に給食を食べ始められるようにしています。３つのグループに分かれて順番にポッポフロアーで食事をとることで、乳児フロアーで過ごしたことを思い出し、懐かしさを感じているお友だちもいます。食べ終わると乳児さんのお部屋が気になり、そっとのぞく姿が見られるので、「みんなもこんなに小さかったんだよ」「たくさん泣いていたよ」とお話ししてもらうと、恥ずかしそうにしています。子どもたちの心の動きを見ていると、乳児さんとの交流が始まる予感もします。また、さくらさんは自分で自分のことを頑張ろうとする姿が出て来ている反面、ゆりさんに甘える時間が少なくなっていることにさみしさを感じているお友だちもいます。そんなときは同じさくらさん同士で寄り添ってお話を楽しんでいたり、バッチのお片付けなどを一緒に頑張る姿も見られます。ばらさんはゆりさんに替わってグループをリードできるよう、ゆりさんへのプレゼント作りやおわかれ会で歌う歌の練習のときには一生懸命に頑張る姿を見せてくれて頼もしく感じています。
おわかれ会の準備が進む中、子どもたちの口から「ないしょ！」と言う言葉をよく聞かれるかもしれません。みんな、ゆりさんに心を込めて準備を進めてくれています。ゆりさんもみんなの期待に応えて、かっこいいゆりさんを見てもらえるように、歌や合奏に頑張って取り組んでいます。お相手さんやお友だちと一緒に過ごす中で、たくさんのことを経験してきた子どもたち。新しいあそびに出会う度にがんばる姿を近くで見守らせてもらい、時には、悲しかったり悔しい想いを言葉にしたり、泣いて伝えてくれることもありました。また、うれしくて楽しい気持ちを笑顔で知らせてくれたり、言葉にしてくれることもありました。
さみしい気持ちはありますが、次はばらさんがゆりさんからバトンを受け取り、来年度スタートを切ります。
　今年度の年主題は「ひろがる想い～えがおいっぱい～」です。子どもたちを中心に、保護者の方、そして保育者もそれぞれの想いを伝えあい、つながり合い、その輪にひろがりを持たせることが出来たでしょうか…。そして、この１年を振り返ったときにみんなの笑顔が思い浮かぶでしょうか。もちろん笑顔ばかりではなかったと思います。しかし、笑顔の心地よさ、暖かさ、素晴らしさ、大切さを感じたのではないかと思います。この大切な笑顔を心に覚え、新しい道を歩んでいけるよう、残り１ヶ月、みんなで楽しく心はずませて過ごしていきたいと思います。１年間、幼児ぐみの保育を支えていただき、ありがとうございました！

みんなのグループがきまったよ！（すみれ）

　す２のお友だちのお引越しも終わり、すみれさんは１５人のお友だちがお２階に移行して生活をしています。幼児フロアーは乳児フロアーに比べて、たくさんのお友だちが過ごし、グループごとにお部屋はありますが、自由にお部屋の行き来をしていることも多い為、環境の変化にドキドキしているお友だちもいます。そんな中、優しく声をかけてくれたり、そっと手を繋いでくれるお兄さんお姉さんの存在が頼りになり、安心できる関係の始まりを見せてくれているお友だちもいます。休息でトントンしてくれたり、たくさんお手伝いをしてくれることで、お相手さんに甘える姿も出てきました。これからもたくさん甘えて、一緒に過ごしていきたいと思います。これから交流が深まっていくす３のお友だちのグループも決まりました。すみれさんにとっても、２階が大好きな場所、安心する場所になっていってほしいので、幼児のお友だちとたくさんあそんで、おもしろいこと、楽しいことをみつけて行きたいと思います。

どうぶつグループ



　新年度が始まった４月、どうぶつのお部屋にたくさんのドキドキが溢れる中、お相手さんと手を繋いでお散歩あそびを楽しみました♪山道、くねくね道、一本橋、様々な道をみんなで歌いながら歩いていると少しずつ笑顔も増えて、気持ちはすっかり絵本で楽しんでいた『ぐりとぐら』になりきっていた子どもたち。
「みんなでカステラをつくろう～！」と話がどんどん膨らんでいき、材料作りや、歌や振りつけを考えたり…ゆりさんがリードしてくれながら遊びが広がっていきました！グループで一緒に生活していく中で、少しずつ関係も深まっていくとぐりとぐらの仲良しでほっこり暖かな雰囲気がお相手さんと関わる姿にも重なってきて…とても微笑ましく感じながら一緒に楽しんできました。

３月のおやつでホットケーキを焼いて食べる機会がありますので、カステラに見立てて楽しみたいな…と計画しています♪

ことりグループ

　１年間、あそびも生活も共に過ごす事で、色々な感情をグループのみんなで共感し、いつの間にかお互いが安心できる存在になっていきました。このメンバーで過ごす時間はあと少しです。みんなで楽しくあそんで来た中で欠かせないのがじっちょりんです。誰も気づかないうちにコツコツと種を運び、たくさんの緑、花を咲かせて、季節の訪れを感じさせてくれるじっちょりん。あわただしく過ぎる毎日の中で、じっちょりんがコツコツと種を運ぶように、子どもたちもコツコツと成長し続けています。出来るようになったことも、まだできない事も、今子どもたちと過ごす時間も…ただ流れて行ってしまう事の無いように、時には立ち止まり、道端の植物に目を向けて、親子で「きれいだね」「春だね」「もうすぐ咲くかな？」と、同じものを見て感じた想いを伝えあってみてください。子どもたちの成長と共に見るものが変わっても、そうした関係を続けられるように、心の中にこっそりじっちょりんを住まわせてもらえると嬉しいです。そして、子どもたちが楽しみにしていたお手紙がついに届きました。お手紙のヒントを頼りに、じっちょりんのおうちを探しに出かけます！最後の１日まで、ワクワク楽しい時間をみんなで過ごしていきます。

さかなグループ

　新しいお友だちや保育者との出会いがあり、ドキドキワクワクの気持ちで始まった４月から、子どもたちとたくさんの絵本を一緒に楽しんできました♪そのなかでも子どもたちは「忍者つばめまる」の絵本が大好きで「忍者のあそびがしたい」、「手裏剣的あてやってみたいな！」と子どもたちの声からあそびが広がっていき、ホールや公園では忍者になりきって“水面渡り”、“一本橋”のあそびを楽しんできました♪また、グループのホール日には、ゆりさんが作ってくれた手裏剣を使って、「手裏剣的あてやろう！」とゆりさんから、ばらさん・さくらさん・すみれさんのお友だちに誘いかけてくれる姿がありました！“手裏剣的あて”のあそびもお相手さん同士「がんばれ～」と応援しながら一緒に楽しんであそぶ姿はとても微笑ましかったです。残り１か月、さかなグループの子どもたちがだいすきな忍者のあそびを一緒に楽しんでいきたいと思います♪